

# 第3号

1986年8月1日

社会福祉法人 友愛会  
大島保育所  
大島福祉学園  
友愛園  
南川福祉学園

題字 理事長 角野永宗

# 海 游



北前船の見学(友愛園)

## かぶと虫

あの時の カブと虫  
幼虫から育てた カブと虫  
デパートのオモチャ売り場で  
買った カブと虫

自分の力で ふたをあけて  
自分の力で 飛んでつた  
自分の世界へ 飛んでつた

あの時のカブと虫  
サナギになつたカブと虫  
飼育器の中で  
成虫になつた カブと虫  
自分の力で ふたをあけて  
自分の力で 生きていつた  
自分の世界を 築いていく…

## 大島福祉学園では…

大島は、夏がとてもよく似合うところです。学園の園生たちも、夏の太陽に、汗をかき、まっくろになりながら、生き生きと暮らしています。

浜清掃、水泳、山登りなどの行事、畑にみのる作物の収穫、どれをとっても感激的な季節です。



## 大島保育所では…



夏といえば何と言っても子ども達の大好きなどろんこ遊び。今年度は、砂場に砂を入れ、お父さん、お母さんに園庭にジャリを入れて頂き、子ども達はもう大喜びです。穴を堀ったり、池や川を作ったりおだんごを作ったり、毎日パンツ一枚で、どろんこになって遊んでいます。

あんな  
こんな  
…夏の

# ふうに ふうに 過ごし方



## 友愛園では…

### ☆夕食後のひととき

夕食の終わったあと、寝るまでのあいだ、結構時間があります。いつの頃からか、みんな涼を求めてゆうすずみをするようになりました。

### ☆収穫の夏

当園では、各居室毎にプランターを置き、野菜づくりを行っています。



## 南川福祉学園では…

### ☆ぼくたち自転車族

学園では今、自転車が大人気。ホームタイムになると、みんな競いあって自転車に乗っています。

### ☆短冊に願いをこめて…

7月6日(日)、“七夕まつり”が行われました。竹にみんなで作った飾りや短冊をつけたあと、みんなの願いをこめて七夕の歌をうたいました。





## 夢をかなえたいな 七夕パーティ

七月七日は七夕です。年に一度おりひめとひこぼしが会えるというこの日、保育所でも七夕パーティを開きました。

保母さんに手伝ってもらったり自分の手で一生懸命作ったお飾りを、家から持ってきた笹につけました。そして、たくさんの笹やお飾りに囲まれる中、みんなで歌をうたい、園長先生からお話しを聞き、保母さんの手品を見、お昼にはおいしいオムライスを食べるなど、楽しい一日を過ごしました。

さて、子ども達の願いはかなうかな…。



## バス遠足は京都へ

### ゆかいな動物たちに歓声！

“えんそく、えんそくドレミファーソー”、5月11日、今日は指おり数えて待っていた遠足の日。大きな観光バスを見つけた子ども達は、早くもドキドキ、そわそわ。先頭のバスは子ども達と先生の子どもバス。後ろはお母さんバス。目ざすは、京都の岡崎動物園。

さあ出発進行。先頭バスの子ども達、どうも後ろのお母さんバスが気になるらしく、「お母ちゃんのバス遅いな。どうしたんやろ」としきりに気にしている。しかしそれもつかの間、ちゃんとついてくるとわかれればもう大はしゃぎ。ゆられゆられて3時間。やってきました動物園。愉快

なゴリラ君や背高のっぽのキリンさん。沢山の動物さんに会えて楽しかったりびっくりしたり。

帰りはお母さんと一緒にバスに乗り、充分に甘えていたようでした。疲れて寝入ったやさしい寝顔を見て、私達もホッと一息。保育所へ帰ってからも遠足の話はしばらく続きました。



## ひぐりばこ

### ～大島福祉学園の巻 やきものも人も…

やきものに使用する粘土にもいろいろな性質があります。色に始まり、粒子が荒いかそうでないか、あるいは腰があって粘り強いかそうでないか等々、本当に様々です。しかし原土のままで石や砂、ゴミが混っており使ません。根気よく不純物

を取り除き、練り上げ、実際に焼いてみて、漸くその土の性質が見い出せるのです。そしてその性質に合わせ、いろいろなやきものが作られていくのです。

私たちの仕事もこの過程によく似ていると思います。身についた不純物を少しでも取り除きその人らしく生きていくための手助けをするということです。まだまだ力量不足ですが、共育の原点に立ち返り、今後共努力したいと考えています。

立井清隆

# 海とぼくらと

精神薄弱者  
更生施設 大島福祉学園

## 参観日 訓練を披露

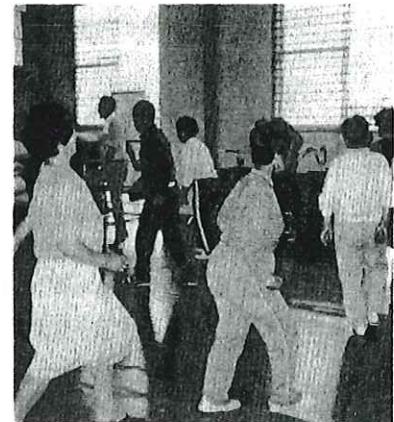
### 父兄の熱い視線を受ける

6月8日(日)、年に一度の参観日を実施しました。これは通常の面会日で見ることのできない園生たちの作業や機能訓練の様子をよく知っていただこうというねらいで開かれたものです。



この取組みは、今年で2回目になりますが、参加されるご父兄の方も多くなり、園生たちはりきりようも一段と高まりました。

いつもの訓練と同様、グループごとに分かれて、陶芸班はカワラケ生産など、農耕班では青空のもと、畑に出て、草取りを汗だくになりながら行いました。また室内では、訓練班の作業として、箱のすじつけ、玉のれんづくりなど、高令者班のリハビリの運動が実施されました。



ご父兄の方々には、いつもの面会や行事のときに見せる表情とは異なる園生たちの真剣な態度に驚かれたり、期待を上回る能力の開花に喜ばれたり、新鮮な発見の多い参観であったようです。



## ぼくたちの クラブ活動

### ③手工芸クラブ

手工芸クラブでは、各3名の男女が、若狭和紙を使った工作に取り組んでいます。これまで学園では、和紙を使ったティッシュボックスを作っていましたが、その経

験者は一人だけですので、技術的にはまだまだ未熟です。現在は小さな空き箱に和紙を貼り合わせる練習をしています。

クラブの時間は、作業とは違った楽しさがあり、雑談を交えながら、リラックスした奮闘気の中でやっています。できあがった箱は、各自小物入れにしたり、内職作業の材料入れにしたりと、使途はさまざまです。

今後は、簡単な木工作品を作る

計画もあるとのこと。彼らの技術向上に期待したいものです。



# くるまいす少し前進！

身体障害者療護施設  
……友愛園

## 友愛園あれこれpart3

### 自治会

今回は、当園の自治会を紹介したいと思います。

〈名称〉 葦会(きのこかい)

〈会員〉 入所者全員

〈役員〉 会長・副会長・会計・

書記・企画の5名

上記の構成により、入所者全員が、生活しやすい施設をつくることを目的として、昭和54年に発足しました。



#### 〈主な活動内容〉

1. 入所者の要望・質問をまとめること。
  2. 葦会主催の娯楽行事（風船バレー、オセロ大会など）。
  3. 売店の運営と管理。
- 他にもいろんな事を、実施しています。これらの活動は、役員会で相談、決定され、運営されています。

#### 〈問題点〉

1. 自治会と、職員との話し合いが、ゆっくりとできないこと。
2. 入所者全員の団結力が弱いこと。

この問題点を克服しないと、自治会の目的を達成することはできません。入所者全員、そして職員全員が、「自治会」のあり方について再認識し、今以上に、友愛園を生活しやすい施設にしたいと考えています。

### 笑顔の対面

### 家族交流会

6月15日に、第3回家族交流会が開催されました。入所者も久しぶりに、家族と対面することができました。午前中には、清掃奉仕と、園の事業概況説明・新しく導入された費用徴収制度の説明が行われました。昼には、全員で楽しく会食をし、その後、各居室で、入所者、父兄、職員とによる話し合いがもたれ、終了しました。

父兄の皆さん、若狭・小浜各福祉事務所の皆さん、御苦労様でした。



### “岡本君の日記”

岡本秀俊君の部屋へ、夜の8時頃に行くと、必ず鉛筆を握っています。彼は、毎日、日記をつけています。障害が軽い左手で書くのですが、日増しに文字もきれいになってきました。今までに書いた日記帳は、山積みになっています。

ます。「ぼく、死ぬまで日記を書く」と、目を輝かせながら、いつも言っています。

23才の岡本君には、失礼な言い方ですが、まだまだ子どもっぽさが残っています。でも、これからいろいろなことを体験し、それを日記に書きとめて、成長していくのでしょう。岡本君にとって、日記

は先生であり、友だちのようです。



# キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

木立の中を登る……

## さわやかな親子遠足

6月15日(日)、嶺南養護学校小浜分校と合同で恒例の親子遠足が行われました。

今年は“親子で歩こう”ということで、上中町にある河内の森キャンプ場をめざして、200m・1km・1.5km・2.5kmの4つのコースに分れ歩きました。



当日は天候の方が心配されましたが、みんなの願いがかなってか、さわやかな天候に恵まれ、青々とした木立の中を親子で助け合いながら頂上のキャンプ場をめざして登って行きました。

キャンプ場に着くとお弁当。グループごとに木陰にシートを敷き、お父さん・お母さん・兄弟達と一緒に手作りのお弁当をおいしそうに食べていました。

お弁当でお腹がふくれたあとは、みんな広場に集まって、歌やフォークダンスをして過ごしました。最初は、はずかしそうにしていたお父さん、お母さんも、子供達にひっぱられてか、一緒に歌ったり、踊ったり、子供達以上に楽しそうでした。

親子で歩いたり、歌ったり、踊

## =お知らせ=

☆第6回頭巾山一泊キャンプ  
とき…8月30日(土)～31日(日)  
ところ…頭巾山キャンプ場

今年も地域交流事業の一環として、小浜小学校6年1組、ボランティアつばさの会の皆さん、保護者の方々の協力のもと一泊キャンプが行われます。

当日は、班別行動やキャンプファイヤーなどを行い、お互いの交流をはかるこになります。



ったり、日頃一緒にいられない親子にとって、思い出に残る初夏の一日になったことと思います。



## グループ登場②

### 療育班

生活指導・集団指導・歩行訓練の3つからなる療育班は、毎週月曜と木曜の午後、学齢児を中心の重度と中度児を対象に行ってています。

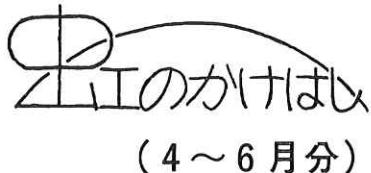
生活指導では、各ホームとの連携をはかりながら、特に洗面・着脱・シーツ入れ等をマンツーマンで指導しています。

集団指導は、手遊び・ゲームを中心とした楽しいプログラムを組み、協調性や自己表現力を養うことに努めています。

歩行訓練は基礎訓練と共に、歩く意欲を大切に伸ばしています。

様々な障害を持った子供達相手に悪戦苦闘の毎日ですが、どんな小さな変化にも目を向け、大きな励ましと介助の手を差しのべながら、共に頑張っていきたいと思います。





(4~6月分)

## ◆大島福祉学園

## ●奉仕・交流

6月29日…三方町16ミリ映画を  
愛する会のみなさん

## ◆友愛園

## ●奉仕・交流

4月12日…岩本エイさん  
(ほか2回)

4月14日…名田庄村民生委員の  
みなさん

4月14日…中名田冠句会のみな  
さん (ほか2回)

4月15日…立正佼成会若狭教会  
のみなさん  
(ほか2回)

4月16日…買物ボランティアの  
みなさん (ほか2回)

4月19日…猿橋統流子さん  
(ほか2回)

4月19日…若狭福祉事務所のみ  
なさん

4月26日…東野手芸店さん  
(ほか3回)

5月7日…若狭福祉事務所管内  
ボランティアのみな



## ♥退職

佐野源治さん (大島福祉学園総  
務課長) が、去る6月30日退職さ  
れました。長い間ごくろうさまで  
した。

さん  
5月10日…小浜福祉事務所のみ  
なさん

6月11日…小浜市社協浦谷さん  
6月11日…大下第三歯科医院丸  
山さん

6月22日…名田庄村下婦人会の  
みなさん

6月22日…名田庄村西谷婦人会  
のみなさん

6月29日…大正琴城流琴達会  
のみなさん

## ●寄付

ハギレ……坂下利雄さん  
油 絵……朝日茂夫さん

## ◆南川福祉学園

## ●奉仕・交流

5月19日…塚本さんほか1名  
5月20日…小浜市民生婦人部の  
みなさん

5月26日…深川さんほか1名  
6月1日…三方町16ミリ映画を  
愛する会のみなさん

6月1日…塚本さんほか7名

6月16日…高浜町・青郷ボラン  
ティアのみなさん

## ●寄付

タオル・石けんなど  
…小浜市民生婦人部の  
みなさん

## ♥大島福祉学園から

来る9月28日(日)に、「第4回学園  
祭り」を開催します。舞台発表、  
模擬店、バザー、作品展示など、  
楽しい取組みを予定しています。  
ぜひご来場ください。

## ♥友愛園から

6月11日に、小浜病院の吉井先  
生が来園され、「脳血管障害につ  
いて」講演をしていただきました。  
お忙しいところ、本当にありがとうございました。

友愛会後援会  
会員募集中!!

友愛会の運営する、4つの施設  
(大島保育所・大島福祉学園・友  
愛園・南川福祉学園) を育成援助  
することを目的とする友愛会後援  
会では、会員を募集しています。

今年度の事業は、友愛会機関誌  
「海清」の年4回発行や、友愛会  
文化祭等に協力していきます。皆  
さまの御支援をお願いします。

## &lt;会費&gt;

一般会員 年額1口(千円)以上

特別会員 年額1口(五千円)以上

法人会員 年額1口(三万円)以上  
お申し込みは、大島福祉学園まで

☎ 0770(77)0185

## 編集後記

盛夏、園生にとっては、待ちに  
待った夏期家庭実習の時期になり  
ました。

大島福祉学園では、約90%の人  
が数日から2週間帰省します。10  
%の人は、家庭がない、その他事  
情により学園で過ごします。全員が  
施設とは違った場所にて過ごせる  
と良いと思いますが、まだその場  
はありません。帰省できない園生  
にとって、家庭に代わるものはない  
のでじょうか。

わずか2週間の家庭学習ですが  
帰省する園生には、家庭の味を満  
喫してもらいたいものです。



(谷口)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6

大島福祉学園内

広報「海清」編集部

☎ 919-21 ☎ 0770(77)0185